



保健福祉学部 保健福祉学科 人間福祉学コース

高度な 専門職の育成

人間福祉学コースでは、水準の高い福祉を実現するための理論や実践的技法を修得し、地域の保健・医療・福祉分野のリーダーとして活躍できる社会福祉士（ソーシャルワーカー）と精神保健福祉士（メンタルヘルスソーシャルワーカー）の育成を目指しています。

目指すことができる資格

[卒業要件] 社会福祉士国家試験受験資格

[任意選択] 精神保健福祉士国家試験受験資格

[任用資格※] 社会福祉主事任用資格 児童福祉司任用資格 身体障害者福祉司任用資格 知的障害者福祉司任用資格

※任用資格とは保持しているだけでは資格として活かされず、公務員などで採用されその資格を必要とする業務に就いたときに活かされる資格です。
なお、就職の際に、社会福祉士の合格を求められることもあります。

※社会福祉士国家試験受験資格は卒業要件にしていますが、精神保健福祉士国家試験受験資格は希望者のみです。定員はなく、希望した学生すべてが精神保健福祉士の養成課程を履修できます。

けんひろ人間福祉学コースはここが違う！



4つのポイント

2つの国家試験
受験資格の
取得が可能

社会福祉士

生活を送るうえで課題を抱えた方々に対して、専門的な知識や技術を用いて相談に応じ、助言、指導を行う仕事です。福祉サービスを提供したり、医師をはじめとした関係者と連携して支援していきます。

精神保健福祉士

精神障害によって生活上の様々な課題を抱えた方々に対して、専門的知識や技術を用いて相談に応じ、援助、指導、訓練などの支援を行います。

卒業後の
幅広い
活躍の場

こども分野

児童養護施設、市町村、児童相談所、学校

地域・行政分野

社会福祉協議会、市町村

高齢者分野

高齢者福祉施設、地域包括支援センター

司法分野

家庭裁判所、保護観察所

障害者分野

障害者相談支援事業所、地域活動支援センター

一般企業

銀行、株式会社、
特別民間法人

医療分野

病院、精神科病院

5コースで多職種
連携を学ぶ
カリキュラム

「地域包括ケアシステムを発展させる科目」を中心としたカリキュラム

保健福祉学科の5コース（看護学、理学療法学、作業療法学、コミュニケーション障害学、人間福祉学）で、多職種連携に関する知識・姿勢や、地域包括ケアシステムを発展させるための実践力を身に付けることができるカリキュラムを編成しています。

4年間の総括となる「チーム医療福祉演習」

4年次必修科目「チーム医療福祉演習」では、5コースの学生が小グループになって、具体的事例を活用し、多職種連携を学びます。

文系・理系の
どちらからも
志望可能

文系・理系どちらからも受験可能な一般選抜前期・後期の入試科目

共通テストの科目利用は3教科

- ・国語、外国語は必須
- ・地理歴史・公民、数学、理科、情報から1教科選択

個別テスト等

- ・総合問題と面接

「県立広島大学・地域への志向性」が加点評価される

推薦入試だけでなく一般入試でも「総合的な学習の時間」における取組や高大接続連携事業、ボランティア活動などで得た学びを「評価申請書」で提出すると加点評価します。

講義・講習



緑豊かな キャンパスでの学生生活

卒業研究に取り組み、4年間の学びを終え卒業式を迎える。

3年次になると総合演習が始まり、卒業研究に向け各自が研究テーマを見つけ取り組む。

4年次

- 卒業研究
- 精神保健福祉実習 II
- チーム医療福祉演習

卒業研究論文発表会
各自の卒業研究を報告します。



3年次

- 総合演習
- ソーシャルワーク実習 II
- 精神保健福祉実習 I

2年次

- ソーシャルワーク実習 I
- 精神保健福祉士養成課程
精神保健福祉の原理 I 他

2年次になるとソーシャルワーカーとしての専門科目が増え、現場実習が始まる。

1年次

他キャンパスや他コースの学生とともに幅広い教養を身につける。
1年次から専門的な学びが始まる。

- チーム医療福祉論
- ソーシャルワーク演習
- 社会福祉士養成課程
社会福祉の原理と政策 I 他



ソーシャルワーク実習 I

社会福祉施設にて60時間(8日間程度)の実習を行い、社会福祉士として求められる専門性を学びます。

新学期ガイダンス

学習支援アドバイザーの先輩が履修相談に対応します。

新入生オリエンテーション

レクリエーションを通して交流します。



少人数で行う教育・研究

- チューター、実習、卒業研究など、様々な場面で少人数教育を展開します。
- 実習は4人程度の小グループを1人の教員が担当し、事前・事後の学習を進めていきます。
- 卒業研究も教員1人が5名以下の学生を担当し、福祉・医療に限らず、各自が関心のあるテーマを選んで取り組みます。



教員が学生生活全般を支援する チューター制度

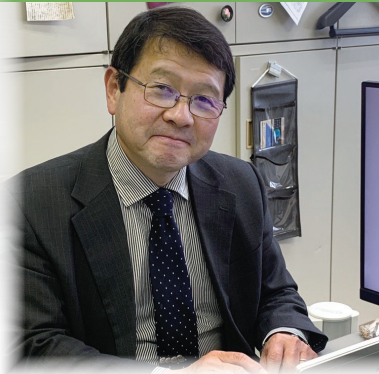
- チューターはいわゆるクラス担任です。教員でチームを組み、入学から卒業までの4年間を通して、授業や学生生活の相談にのります。
- 学期の始まりには個別に期初面談を実施し、履修相談に関する助言をしたり、学生相談室など他の支援に結び付けることもあります。
- 気軽に何でも相談できる関係作りを目指します。



教育環境

社会福祉の領域や就職先はとても幅広いです。様々な社会福祉の講義や演習、実習を通して、自分の関心領域や将来の仕事を見つけます。その集大成となるのが「卒業研究」です。卒業研究はゼミナールともいわれ、関心のある領域の教員を選択し、その教員の研究室に属して取り組みます。自ら立てた学びの問いに没頭する経験をしてみませんか。

ゼミ・研究紹介



松宮透高教授のゼミナールをpick up!

大学のゼミナールは各自の研究を深め 応援し合う居場所となる

ゼミナールは、多様な学生がそれぞれの関心に沿った研究を展開しながら、よく語り、よく笑い、応援し合う場であり、各自が研究の「当事者」として、支援者、子育てに悩む親、ヤングケアラーなど「当事者」との接点をとても大切にしています。

令和7年度卒業論文テーマ

社会福祉のテーマは多種多様。疑問を解決する貴重な経験!

意識調査にみる里親の支援ニーズ(松宮研究室)
日本版ネウボラの児童虐待防止効果と専門職の役割(澤田研究室)
高齢者の孤立要因と居場所のあり方(田中研究室)
自己の語りの変容による貧困者支援の可能性(大下研究室)
大学生ケアラーが抱える課題と求められる支援(越智研究室)
絵本を活用した障害理解促進の可能性(米倉研究室)



講義紹介



「精神保健福祉の原理I」の講義で 精神保健福祉領域のソーシャルワークを学ぶ

精神保健福祉士は、精神保健福祉領域でソーシャルワークを実践する専門職です。ストレスの多い社会の中で、メンタルヘルス課題を抱える人が増えています。本講義では、精神科医療機関、行政機関、地域の相談支援機関など、幅広い場で活躍する精神保健福祉士の存在意義や役割について学んでいきます。

(科目担当教員：越智あゆみ 教授)

精神保健福祉分野への就職

その人らしい生活の実現を目指して一緒に取り組む

病院の入院患者さんや外来の患者さん、そのご家族に対する相談援助を行っています。具体的には、退院に関することや経済的問題、人付き合いや日常生活に関する事など、生活上の問題や希望に対し、その人らしい生活の実現を目指して様々な制度やサービスを用いながら解決に向けて一緒に取り組んでいます。大学の授業では、一つの事例について様々な専門分野を学ぶ学生同士で意見交換したチーム医療福祉演習が印象的です。他職種への専門性への理解が深まり、連携の重要性を感じることができました。医療機関に勤めている今、地域の支援者や院内の様々な職種との連携を心掛けることができています。

(独立行政法人国立病院機構 賀茂精神医療センター 精神保健福祉士 古川涼子さん)



学校生活

大学での学びは、講義室で受ける授業だけにとどまりません。忙しい授業や実習の合間でも、ボランティア、地域活動、サークルなどの課外活動など学校生活を楽しめるよう後押ししています。

ボランティア活動に参加して

私は児童館や就労継続支援B型事業所などでボランティア活動を行いました。自分自身でボランティアセンターや施設へ実際に行きボランティア探しや日程調整を行うことは大変でしたが、地域での福祉施設の役割や利用者との関わり方など実際にその場で体験することでしか得られない貴重な学びがありました。また授業をきっかけに、以前から興味を持っていた児童館のボランティアグループに入り、授業後も時間があるときは継続的にボランティア活動に参加しています。（4年生 尾越望美さん）



ボランティア



「ボランティア」はどんな授業？

「ボランティア」は、3キャンパス合同で実施している共通教育科目です。ボランティアの概要や意義を講義で学び、その後に実際にボランティア活動を自ら探し体験します。最後に体験による気づきや学びを学生が授業で発表します。

（科目担当教員：手島洋講師）

地域活動

地域のイベント「こころ♡ネットみはらまつり」に参加

三原市内の精神保健福祉関係者が協力し、こころの健康について考える地域のイベント「こころ♡ネットみはらまつり」の企画・実施に学生も参加し、役割を担いながら学んでいます。



実習

ソーシャルワークの実際を学ぶ



人間福祉学コースの学生は、社会福祉士の国家試験受験資格(卒業要件)・精神保健福祉士の国家試験受験資格(任意選択)を取得するために、実習に行きます。ソーシャルワーク実習では、特別養護老人ホームから児童相談所、地域包括支援センター、社会福祉協議会、市役所、病院など多様な施設の中から実習先を選ぶことができます。また実習にあたっては、実習前から実習後まで、学内での授業を通して、少人数による実習教育を行っています。実習を通して、ソーシャルワークの価値・知識・技術を実感的かつ主体的に学ぶことができるよう、人間福祉学コースではきめ細かな指導体制を用意しています。

短期留学

語学と実習を両立する

長期休暇等にソーシャルワーク実習に取り組む人間福祉学コースの学生でも、日程を調整しながら大学の短期語学研修プログラムを活用し、海外での学びに挑戦することができます。留学を通して、語学力の向上だけでなく、文化の多様性や自身の価値観に触れる経験を得ることができます。こうした学びは、ソーシャルワーカーとしての素地を育む大切な機会にもなります。また、語学と福祉に関する専門的な学修を両立させることで、福祉の専門性に加えて国際的な視野を広げることができます。コースとしても、両立がしやすいよう実習期間の調整に取り組んでいます。



臨床実習

人間福祉学コースでは、社会福祉士と精神保健福祉士の資格を取得のため「ソーシャルワーク実習」「精神保健福祉実習」の2種類の実習があります。どちらも少人数制で、2段階のステップを踏みながら学びを深めます。そして、本学の卒業生が現場の実習指導者として活躍しており後輩をソーシャルワーカーへと導いてくれます。

人間福祉学コースでの現場実習

科目名	履修条件	学年	実習時間	主な実習施設
ソーシャルワーク実習I	必修	2年次	実習日数8日間 (60時間以上)	高齢、障害、児童分野の施設
ソーシャルワーク実習II	必修	3年次	実習日数24日間 (180時間以上)	高齢、障害、児童、地域、医療分野の施設・機関
精神保健福祉実習I	選択必修※	3年次	実習日数12日間 (90時間以上)	精神科医療機関
精神保健福祉実習II	選択必修※	4年次	実習日数8日間 (60時間以上)	相談機関・支援事業所

※精神保健福祉士国家試験受験資格取得には必修

ソーシャルワーク実習

幅広い分野の中から希望にそって実習施設を選択

ソーシャルワーク実習は2段階のステップで学びを深めます。

ステップ1 (2年生)

主に日中活動や生活支援を行う福祉施設で利用者とのコミュニケーションを通して、どのような人生を過ごされてきたのかなど一人ひとりの背景や利用者の特性の理解を目的にしています。

ステップ2 (3年生)

ソーシャルワーカーと一緒に利用者の自宅を訪問したり、相談場面に同席したり、地域の関係機関が集まる会議に出席して、ソーシャルワーカーの仕事と役割の理解を深めます。

ここがポイント！

- ・教員1名に学生が約4名と少人数制できめ細やかな実習指導を行います。
- ・福祉現場は、施設、病院、行政、地域包括支援センター、社会福祉協議会など幅広く、個別面談を通して個々の関心や将来の進路を聴きながら実習先を決定します。
- ・広島県内で主に実習を行っており、本学の卒業生が現場の実習指導者として活躍してくれています。

精神保健福祉実習

3年次は病院や診療所、4年次は希望施設を選択

精神保健福祉実習もソーシャルワーク実習同様に2段階のステップで学びを深めます。

ステップ1 (3年生)

病院や診療所など精神科医療機関で、患者とのコミュニケーションを通して、生活への理解を深めたり、ソーシャルワーカーの役割を理解することを目的にしています。主に広島県内で実習を行います。

ステップ2 (4年生)

相談支援、就労支援、精神保健福祉センターなどから選択し、地域で生活する精神障害者へのソーシャルワークについて学びを深めます。

ここがポイント！

- ・精神保健福祉士の課程は、2年生前期で課程の授業を履修する中でじっくり考え、後期から履修することが可能です。
- ・精神保健福祉士養成課程に定員の制限はなく、希望者全員が履修可能です。別途の実習費や課程料は必要ありません。
- ・病院や診療所など精神科医療機関での実習は、医療ソーシャルワーカーを目指す学生にとっても貴重な経験となります。

国家試験

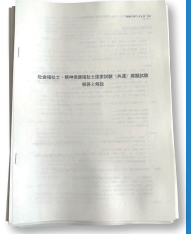
社会福祉士・精神保健福祉士になるには国家試験を受験し合格する必要があります。
 コース教員全員が、授業以外にもさまざまな取り組みをしており、国家試験合格のバックアップをしています。

国家試験の合格に向けた 細やかな支援体制

3年次の春休みから国家試験の準備が始まります。

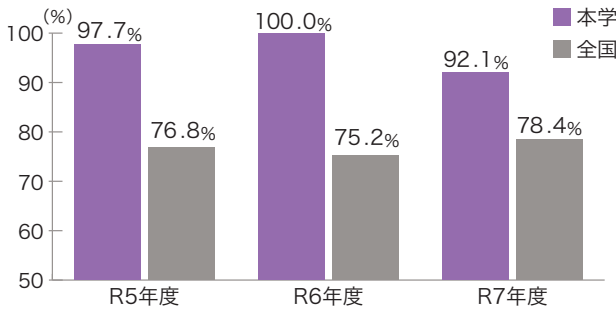
国試応援委員会を中心に、コース教員が一丸となって以下のような国家試験合格に向けた取り組みを行っています。

- 国家試験ガイダンス
- 教員による国家試験対策講座
- 一問一答テストの配信
- 春休み、夏休みの宿題
- 校内模擬試験（年3回）
- 業者による模試の実施（年2回）
- 個別面談
- グループ学習室の運営
- 国家試験受験後のフォローアップ

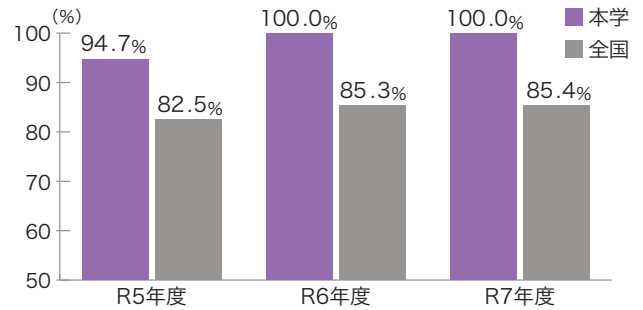


国家試験合格率 全国より高い合格率をキープ！

社会福祉士国家試験 過去3年間の卒業生合格率(新卒)



精神保健福祉士国家試験 過去3年間の卒業生合格率(新卒)



R7年度社会福祉士&精神保健福祉士ダブル合格者100%(18人中18人合格)

就職支援

一般的な就職支援はもちろん、コース独自の取り組みとして、卒業生によるガイダンスや就職活動を終えた4年生との座談会など縦のつながりの中から希望進路が見つかるよう心がけています。

希望を叶える 様々な就職支援

病院、社会福祉施設、公務員(国家公務員・地方公務員)、一般企業など幅広い就職先があります。
 学生の希望する進路に応じて、きめ細やかな就職支援を行っています。

- 個別面接実施
- 4年次と3年次の座談会
- キャリアセンター主催のガイダンス
- 履歴書の書き方指導
- 福祉関連の資格取得支援
- 卒業生による就職活動アドバイス
- 公務員試験対策講座
- キャリアポートフォリオ作成
- 司法分野の専門職による出前講義

卒業後の進路と主な就職先実績

令和7年度就職状況

社会福祉の現場や一般企業、様々な進路があります！

就職先分類	R7年度就職状況	具体例
行政(公務員)	11名(27.5%)	広島市役所(社会福祉)、福山市役所(事務)など
高齢・障害・子ども分野	11名(27.5%)	社会福祉法人あと会、尾道さつき会など
医療福祉分野	9名(22.5%)	広島市立病院機構、岡山大学病院など
精神保健福祉分野	2名(5%)	府中市立湯が丘病院、阪南病院
社会福祉協議会	2名(5%)	広島市社会福祉協議会、福山市社会福祉協議会
一般企業	5名(12.5%)	広島銀行、リョービ株式会社、全国健康保険協会など
計40名(100%)		

就職率

100%

社会福祉の専門職枠で自治体行政への採用が増えています。

人間福祉学コース 教員紹介

コース長メッセージ



松宮 透高 教授

研究キーワード

ソーシャルワーク 精神保健福祉 子ども虐待

人の暮らしという多様な課題に社会的に取り組むソーシャルワーカーを目指す皆さん。さまざまな方向から研究、教育、実践の向上にチャレンジしている、個性的で情熱あふれる先生たちと、しっかり学び合い語り合しましょう。



金子 努 教授

研究キーワード

ケアマネジメント
地域包括ケア



田中 聡子 教授

研究キーワード

地域福祉、子どもの居場所
コミュニティ・ケア



細羽 竜也 教授

研究キーワード

ストレスの心理学、
ケアに関わる人への支援



本岡 直子 教授

研究キーワード

英語教育、外国語読解
語彙学習



越智 あゆみ 教授

研究キーワード

精神保健福祉
ソーシャルワーク



勝見 吉彰 准教授

研究キーワード

ステップファミリー



國定 美香 准教授

研究キーワード

高齢者福祉、介護福祉
家族支援



澤田 千恵 准教授

研究キーワード

ジェンダー、服薬経験の語り
リカバリー



永野 なおみ 准教授

研究キーワード

医療ソーシャルワーク
意思決定支援



米倉 裕希子 准教授

研究キーワード

障害者福祉
ペアレント・トレーニング



朝比奈 寛正 講師

研究キーワード

精神保健福祉、
アディクション、人材育成



伊藤 泰三 講師

研究キーワード

自助共助公助、政策過程
公共政策



梶原 豪人 講師

研究キーワード

社会政策、子どもの貧困



手島 洋 講師

研究キーワード

地域福祉活動、権利擁護
家族介護支援

大下 由美 准教授

研究キーワード

家族支援論
異文化ソーシャルワーク

県立広島大学 三原キャンパス

〒723-0053
広島県三原市
学園町1番1号
TEL.
0848-60-1120(代)



崔 仙姫 講師

研究キーワード

社会保障、高齢者福祉、
国際比較



吉田 倫子 講師

研究キーワード

まちづくり、居住支援
福祉住環境



山地 恭子 助教

研究キーワード

医療ソーシャルワーク、
低所得者支援、被爆者支援



楊 慧敏 助教

研究キーワード

高齢者福祉、介護保険
ヤングケアラー

